

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 木・4、金・3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語Ⅱ (GermanⅡ)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) (木・4:D16・17) (金曜・3校時・M12)	科目分類 外国語科目(ドイツ語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室 担当教員:目 正勝 /Eメールアドレス:m79sakka@aol.com /研究室:(非常勤講師)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
授業のねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。平易なドイツ語例文に付けられた解説と練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台つくる。テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。 授業方法: 前期に引き続いて、テキストに従って進む。動詞の三基本形や過去人称変化を学習した後、現在完了、受動態、関係代名詞、そして仮定表現などまで進む。 教室では、文法の説明のあと、テキストの練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておく必要がある。語形変化は練習を繰り返し繰り返し行う。 テキストの音読やテープによるリスニングも。 授業到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引ながらでも読んで理解することができる。簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容			
全 15 課のうち、前期に引き続いて、第 8 課から第 15 課まで。 第1回 第 8 課、話法の助動詞の練習問題など、第 9 課、動詞の過去形。 第2回 第 9 課、動詞の三基本形、過去人称変化、接続詞など。 第3回 第 9 課、従属接続詞、副文、枠構造、練習問題。 第4回 第 10 課、現在完了、過去完了、形容詞の格変化。 第5回 第 10 課、形容詞の格変化(2)、練習問題。 第6回 第 11 課、形容詞、副詞の比較変化、形容詞の名詞化、練習問題。 第7回 第 11 課、序数、第 12 課、再帰代名詞、再帰動詞。 第8回 第 12 課、zu 不定詞、再帰表現の練習問題。 第9回 第 13 課、受動態、自動詞の受動態。 第10回 第 13 課、状態受動、分詞、練習問題。 第11回 第 14 課、関係代名詞、不定関係代名詞、指示代名詞。 第12回 第 14 課、関係代名詞補足、練習問題。 第13回 第 15 課、接続法と直説法、接続法第 1 式、間接話法。 第14回 第 15 課、接続法第 2 式、仮定表現、外交的接続法、練習問題。 第15回 全授業のまとめ、定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: 「練習中心・小ドイツ文法」 荻野蔵平 著 同学社 独和辞典: 『新アポロン独和辞典』(同学社) 他		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(約 90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約 10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			